

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

美濃市公共交通活性化協議会 (美濃市)

平成21年3月23日設置

平成25年6月 美濃市地域公共交通計画策定
(計画期間：平成25年度～令和4年度までの10年間)

令和3年6月25日 フィーダー系統 確保維持計画策定

令和5年1月20日 令和4年度評価結果送付

1. 【Plan】 協議会等が目指す地域公共交通の姿

美濃市の概要

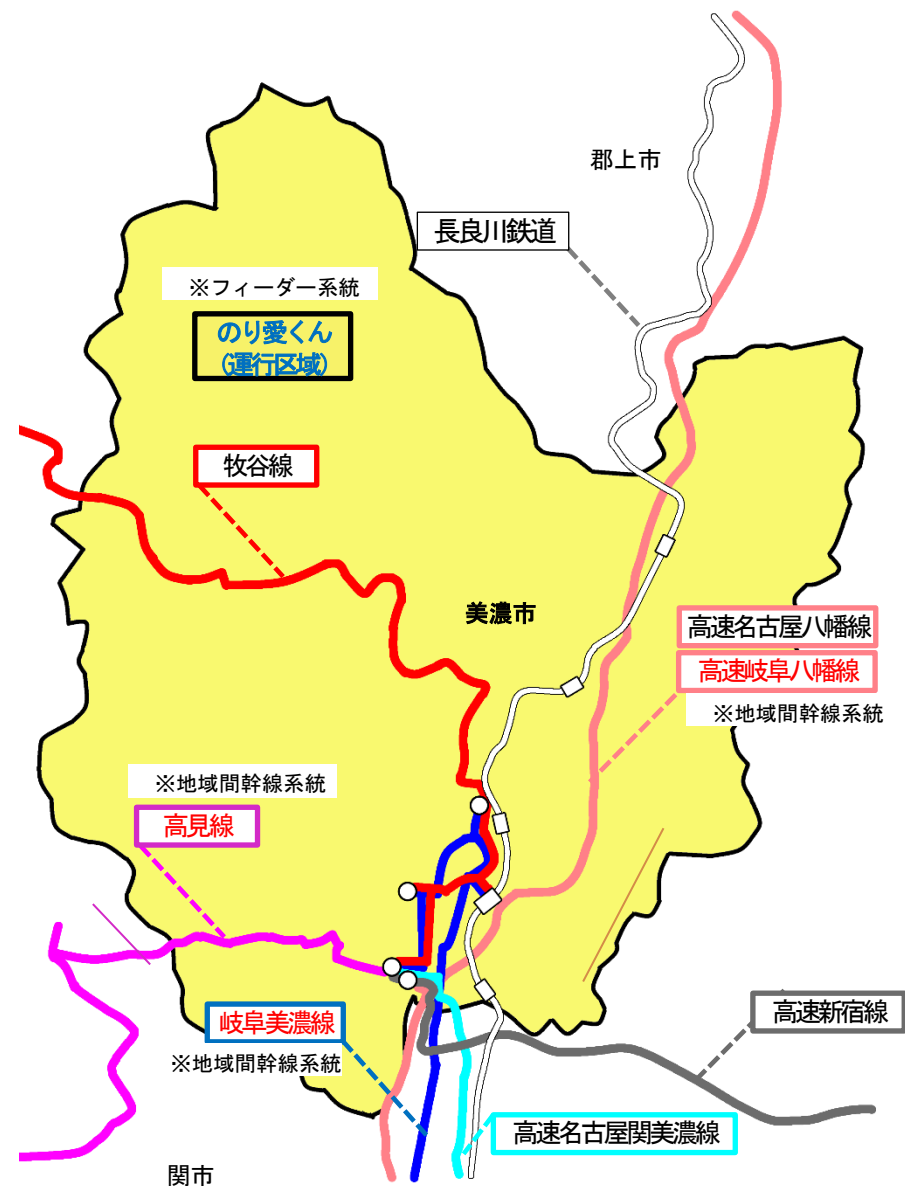
- 人口：約19,247人(国勢調査)
- 高齢化率：36.2%
- 特徴：森林が面積の約8割を占める。
市南部(平野部)の人口集積が高く、
北部は谷あい集落が分布する。

美濃市の公共交通機関

- 地域間幹線系統：岐阜美濃線、高美線、
高速岐阜八幡線
- 鉄道：長良川鉄道(5駅)
- 高速バス：名古屋関美濃線、名古屋郡上
八幡線、新宿線
- 廃止代替バス：牧谷線(関市との共同運
行)

美濃市の公共交通計画

- 計画期間10年の任意計画(H25~R4)
 - ・利用者が減少する一方で高齢者等移動手段を持たない方にとっては重要な公共交通を維持確保するため、鉄道、バス、乗り合わせタクシーが、相互に補完し合う、合理的な公共交通ネットワークの形成を目指し計画を策定。



2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
デマンドタクシー「のり愛くん」の運行	「のり愛くん」の運行を継続	前年に比べて利用者数が増加 (36,601人→37,665人)	利用者の要望に応じ、ミーティングポイントの見直しを実施（新設4箇所、移動2箇所）、利用者数増加となった。
	期日前投票時の利用料無料化	2回実施、延べ利用者数43人	投票に行きたいが移動に負担を感じる方に対する促進策となった。
	新デマンドシステム導入の検討	運行事業者と協力し、今年度導入する。	利用者利便の向上や、予約手段の多様化により新規利用者の獲得が期待される。
高速名古屋線通学定期乗車券補助	利用促進として補助要件の緩和、補助制度の広報での周知を実施	前年に比べ、利用者数が増加した。(49人→72人)	利用者数が増加し、進学のための市外転出を抑制する効果があった。

34	花かざり活動支援事業補助金	<ul style="list-style-type: none"> ◆対象/自治会や市民で構成される団体で、市内の広場や集会所施設、道路付近などの花壇やプランターで行う花かざり活動に必要な種子、苗、肥料などの経費を補助します。 ◆補助/花かざり活動に必要な経費(上限3万円) ◆申込/随時 	総合政策課(内線342) 新ホームページでも確認できます。
35	地域の絆づくり事業等補助金	<ul style="list-style-type: none"> ◆対象/5人以上の市民団体、自治会で、地域の活性化を推進するため、補助対象者が主体的に地域で行う事業に対し、その事業費の一部を補助します。 ◆補助/補助対象経費の3/4(上限150万円) ◆申込/随時 	総合政策課(内線342) 新ホームページでも確認できます。
36	高速名古屋線通学定期乗車券補助金	<ul style="list-style-type: none"> ◆対象/高速バス(高速名古屋線)の通学定期券を利用して大学、専門学校、高校などに通学する学生に対し、通学定期券の購入費用の一部を補助します。 ◆補助/通学定期1か月あたり5千円 ◆申込/随時 	総合政策課(内線343) ※ホームページでも確認できます。
37	美濃市・土曜町民間交流促進事業補助金	<ul style="list-style-type: none"> ◆対象/3人以上の市民グループで、美濃市(約100km)・北河内(約100km)間の交流のために土曜町を訪問するための費用を補助します。 ◆補助/補助対象経費の2分の1(上限2万円、1グループ15人まで) ◆申込/随時 	総合政策課(内線343) ※ホームページでも確認できます。

▲ 高速名古屋線通学定期乗車券補助に関する広報

期日前投票のために「のり愛くん」を利用した場合、利用料が無料となります。(投票所の行き帰りどちらも対象) ぜひご利用ください。

投票・開票の速報
投票・開票状況の速報を美濃市のホームページに掲載します。

臨時期日前投票所開設日程

地区	場所	月日	時間
上 牧	上牧地域ふれあいセンター	1月11日(火)	午前10時 ～午後7時
下 牧	下牧地域ふれあいセンター	1月12日(水)	
大矢田	大矢田地域ふれあいセンター	1月13日(木)	午前10時 ～午後7時
藍 見	藍見地域ふれあいセンター	1月14日(金)	
洲 原	洲原地域ふれあいセンター		
中有知	中有知地域ふれあいセンター		

問い合わせ先
美濃市選挙管理委員会 (E-mail: mion-jm.com)

▲ 期日前無料送迎に関する広報

総務部総合政策課(1/2)

乗り合わせタクシー「のり愛くん」

▶ 停留所の移設などの相談に応じます

〈停留所の現状〉
設置総数/ **259**か所
※停留所は「一般停留所」と「公共施設や医療機関などに設置する目的停留所」の2種類に分かれる。

〈停留所の設置基準(新設、移設時)〉

- ▶ 年間を通じて利用が見込まれる場所で、かつ、地域の合意が得られていること
※効率的な運行のため、利用者がいない場所への設置は行っていません。
- ▶ 車両が安全に停車できる場所であること
※法律で駐車禁止されている場所や許可の得られていない私有地への設置は行っていません。
- ▶ 近く的一般停留所と200メートル以上、離れていること
※距離は「タクシー」ですが、効率的な運行や経費の面から「バス」に近い扱いで運用しています。

▶ のり愛くん利用のための「出前講座」開催できます

いざいざというときに利用ができるよう、利用方法に関する説明会を要望に応じて開催します。

▲ ミーティングポイントの移設に関する周知(自治会長会議等で案内)

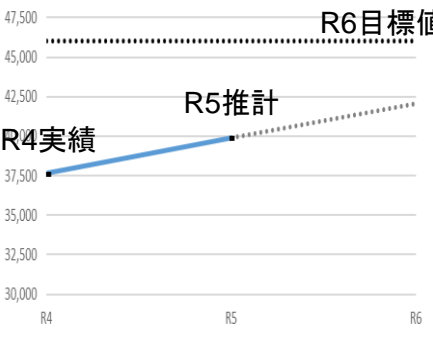
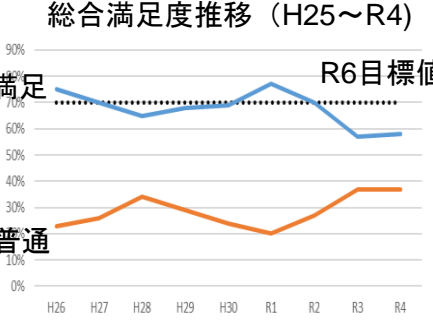
年度	評価指標		達成状況	評価指標		達成状況
R4	目標	利用者数40,000人	×	目標	アンケート満足度70%	×
	実績	37,665人		実績	58%	
R5	目標	利用者数43,000人	未達成 見込	目標	アンケート満足度70%	-
	推計	39,876人		推計	-	
R6	目標	利用者数46,000人	-	目標	アンケート満足度70%	-
	-	-		-	-	

考察

利用者数：目標は未達成だが、停留所の新設などにより、利用者増となった。毎年実施している利用者アンケートの結果より、娯楽等での利用が控えられていることから、現在も新型コロナウイルスの影響が続いていると考えられる。

- ・利用者アンケートで利用目的を「飲食・娯楽」と回答した割合
 コロナ禍以前・・・12.2%（H25-R1平均）→コロナ禍以降・・・8.0%（R2-R4平均）

満足度：運行当初は満足度が高かったものの、運行開始から9年が経過し、特に継続して利用される方が多くいる中で、サービスレベルを普通と感じる割合が高くなっている。また、時間帯によって予約電話がつながりにくいときがあり、アンケートでも毎年満足度が低い項目となっているため、改善が必要である。

計画目標の現在の到達点	今後の取組み方針																																								
<p>利用者数は増加傾向にあるが、現状R6目標未達成の見込み。</p>  <table border="1"> <caption>利用者数推移 (R4～R6)</caption> <thead> <tr> <th>期</th> <th>実績/推計</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>37,500</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>41,000 (推計)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>-</td> <td>46,000</td> </tr> </tbody> </table>	期	実績/推計	目標値	R4	37,500	-	R5	41,000 (推計)	-	R6	-	46,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報等での周知や、自治会等の求めに応じて利用説明会を開催する。 ・ Web予約を可能とすることで若者や観光利用の需要を取り込み、新規利用を促進する。 																												
期	実績/推計	目標値																																							
R4	37,500	-																																							
R5	41,000 (推計)	-																																							
R6	-	46,000																																							
<p>総合満足度については、目標値を下回っている。</p>  <table border="1"> <caption>総合満足度推移 (H25～R4)</caption> <thead> <tr> <th>期</th> <th>満足/まあ満足 (%)</th> <th>普通 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>80</td> <td>20</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>70</td> <td>25</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>65</td> <td>35</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>70</td> <td>25</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>70</td> <td>20</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>80</td> <td>20</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>65</td> <td>25</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>60</td> <td>35</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>60</td> <td>40</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	期	満足/まあ満足 (%)	普通 (%)	目標値 (%)	H26	80	20	70	H27	70	25	70	H28	65	35	70	H29	70	25	70	H30	70	20	70	R1	80	20	70	R2	65	25	70	R3	60	35	70	R4	60	40	70	<ul style="list-style-type: none"> ・ 停留所の見直しなど、利用ニーズに合った柔軟な対応の実施。 ・ 電話の繋がりにくさを解消するため、予約システムを更新する（今年度実施）。 ・ 「満足/まあ満足」と「普通」の項目に負の相関があるため、「普通」と回答された方のニーズを抽出し、満足度の向上につなげる方法を検討する。 <p>→ こういったアプローチが考えられるかアドバイスいただきたい。</p>
期	満足/まあ満足 (%)	普通 (%)	目標値 (%)																																						
H26	80	20	70																																						
H27	70	25	70																																						
H28	65	35	70																																						
H29	70	25	70																																						
H30	70	20	70																																						
R1	80	20	70																																						
R2	65	25	70																																						
R3	60	35	70																																						
R4	60	40	70																																						

5.直近2年間の二次評価の活用・対応状況

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	利用者アンケートの結果から得られた課題について、公共交通会議等を活用して対策を検討し、公共交通サービスの改善が図られることを期待する。	・利用者アンケートの結果をもとに 新たなデマンドシステム の導入について協議会に諮り、 今年度導入 する。	・新たなシステムの運用による効果を検証し、事業者と協力しながら本市に合ったデマンド交通となるよう最適化していきます。
	廃止代替バスの牧谷線について、関市と連携し利便性の向上を図ることを期待する。	・未対応	・関市との連携手法について検討します。
	次年度から新たな地域公共交通計画策定に向けた検討が予定されているので、現状の課題の深掘りや日頃公共交通を利用しない住民の意見も把握しながら検討を進めていただくことを期待する。	・公共交通の利用者だけでなく、 市民全体に向けた調査結果も分析 し、検討している。 ・ビッグデータなど 新たな分析手法も活用 し、分析を進めている。	・令和5年度に最終的な計画案を協議会に諮り、法定計画としての認定を目指します。
前々回	利用者アンケートから得られた結果を分析し、更なる利便性や効率化の向上を目的とした取組が協議され、実施されることを期待する。	・利用者アンケート等により、課題や改善すべき事項が明らかになってきているが、 協議が十分に進んでいない 。 ・デマンドタクシーの課題を補完する定時定路線型による新路線の検討を行っている。	・令和4年度以降に、法定計画を策定する予定であることから、計画に合わせて議論を深め、利便性の向上等に関する施策の検討と実施を図ります。
	高速名古屋線が令和2年10月より中濃庁舎止まりとなり、現在の通学定期補助者に影響はないと思われるが、今後の状況や利用拡大に向け、必要に応じ協議が重要と考える。	・停留所付近にある無料駐車場の存在を広報紙等で周知し、 パークアンドライドでの利用を促している 。 ・観光客等の利便性向上を目指し、 新たなバス路線の検討 を行っている。	・利用拡大につながる新路線の検討を進めています。 ・停留所の環境改善に関する要望もあるため、事業者との調整に努めます。
	地域公共交通活性化再生法改正の趣旨を理解し、現連携計画を法定計画へ早期に移行することを期待する。	・現在の独自計画の期間が満了することから、 法定計画を策定する方針を固めている 。	・岐阜県や隣接自治体の計画との整合性を図りながら、法定計画の策定を進めます。

※前回：4年3月10日、前々回：3年3月1日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会			①							②		
主な行事		生活交通確保維持改善計画	◆						新年度予算要求	◆	第三者評価委員会	◆
実施すること と 継続実施 → 必要に応じて実施 →	生活交通確保維持改善計画の検討 A →							新年度事業の検討 P →		実施事業の評価 C →		
	D → 事業の実施											
	のり愛くん利用説明会の開催、ミーティングポイント見直し、民生委員から交通弱者へののり愛くんの周知											

- 第1回協議会 令和4年5月31日(書面) 主な議題：令和4年度事業計画及び予算案について
- 第2回協議会 令和4年6月28日 主な議題：美濃市生活交通確保維持改善計画(案)について
- 第3回協議会 令和4年8月12日(書面) 主な議題：岐阜バス「土日祝日限定1日乗車券(ホリデーパス)」対象路線「牧谷線」の適用について
- 第4回協議会 令和4年9月27日(書面) 主な議題：美濃市地域公共交通計画策定方針(案)について
- 第5回協議会 令和4年11月30日 主な議題：地域公共交通計画策定調査について
- 第6回協議会 令和5年1月18日(書面) 主な議題：生活交通確保維持改善計画及び計画策定事業の事業評価について

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 5年 1月20日

協議会名： 美濃市公共交通活性化協議会
 評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	域内フィーダー系統確保維持国庫補助	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C 評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C 評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
美濃タクシー株式会社 久愛商事有限会社	乗り合わせタクシー 区域運行(市内全域)	<p>運行開始以来行っている利用者アンケートを今年度も引き続き実施し、利用者のニーズ、満足度の把握に努めた。</p> <p>また、利用者利便向上のため、本年ミーティングポイント4箇所の新設、2箇所の移設を実施した。</p> <p>予約の取りやすさ等向上の為、デマンドシステムの見直しを検討した。</p> <p>学生も含めた公共交通利用者アンケートを実施し、昨年度実施の公共交通市民アンケートも含め市民ニーズの分析を行った。</p>	B 地区懇談会等による利用説明会については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域で集まる機会が減少しており、開催できなかった。	C <p>==== 【年間利用者数】 =====</p> <p>目標：40,000人 実績：37,665人(未達成)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた利用者数の回復が見られたものの、目標未達成となった。今後は、引続き感染症対策等の実施や、予約利便性向上の取組みにより新規利用者増加も含め、利用者数の回復を目指す。</p> <p>==== 【利用者アンケートの満足度】 =====</p> <p>満足度(5段階評価の内、上位2段階)の割合 目標：70%以上 実績：58%(未達成)</p> <p>上位2段階(満足、やや満足)の内、満足と回答する割合は例年と変わらなかったものの、昨年度に引続き5段階の内中位の普通と回答する割合が大きかった。のり愛くんの運行開始から9年が経過し、利用者の中で現状のサービスレベルが当たり前と感じるようになってきていると考えられる。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策及びミーティングポイントの見直しや、予約利便性の向上を図り、利用者数の増加や満足度の向上を目指す。</p> <p>また、利用者アンケートや公共交通アンケートの結果及び分析をもとに公共交通活性化協議会で協議し、現行の公共交通の見直し等を行うことで、新規利用者確保も含め、新たな地域公共交通計画に反映していく。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関係について

令和 5年 1月20日

協議会名:美濃市公共交通活性化協議会

協議会名 :	美濃市公共交通活性化協議会
--------	---------------

評価対象事業名 :	地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金
-----------	---------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	平成25年6月に美濃市地域公共交通計画を策定(平成25年度～令和4年度)。公共交通の将来像として公共交通のサービス水準、「市内の各地域から中心市街地へは、直通で30分を目安に移動できること」、「市内の各地域から市外へは、直通もしくは1回の乗り継ぎで移動できること」の2点を設定し、誰もが安全に安心して自由に移動できる公共交通を確保し、効率的かつ効果的な運行をすることを目標としている。
-----------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

令和 5年 1月20日

協議会名: 美濃市公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は 地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
【事業内容及び結果概要を記載】	A・B・C 評価	【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】
<p>■事業内容(美濃市地域公共交通計画策定調査業務)</p> <p>①現計画に掲げる施策の進捗状況の確認 ②地域特性と公共交通の現状整理 ③利用者アンケート調査 ④地域公共交通の課題整理 ⑤地域公共交通計画案の検討 ⑥協議会開催</p> <p>■結果概要</p> <p>①現計画に掲げる施策の達成未達成を整理し、評価を実施した。 ②美濃市の特性や公共交通の利用実態を把握し、公共交通を取り巻く環境を全国的な視点、美濃市に絞った視点で整理した。 ③公共交通利用実態調査を実施し、昨年度実施した公共交通市民アンケートの結果と共に分析した。 ④③の結果をもとに、利用者・非利用者を含め公共交通に関するニーズや課題の洗い出しを行った。 ⑤④の結果を反映した新たな地域公共交通計画案を検討している。 ⑥計画策定に向けて、年間4回の協議会開催を予定している。(現在2回開催)いただいたご意見を反映させた計画案を今年度作成する。</p>	A	<p>■補助対象事業名 美濃市地域公共交通計画策定調査業務</p> <p>■事業内容 ・本市の特性や、公共交通を取り巻く環境、市民のニーズの調査・分析をもとに、利用者や時代のニーズに対応した誰もが安心・安全・快適に生活ができる公共交通網の形成を目指す地域公共交通計画を策定する。 ・計画策定にあたり、協議会委員をはじめ市民の方のご意見も反映し、本市に合った計画を策定する。</p> <p>■実施時期 令和4年5月20日～令和5年3月31日</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関係について

令和 5年 1月20日

協議会名:美濃市公共交通活性化協議会

協議会名 :	美濃市公共交通活性化協議会
--------	---------------

評価対象事業名 :	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(計画策定事業)
-----------	----------------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>現在美濃市内の公共交通は人口減少や少子化により利用者が減少傾向にあり、事業者の負担が大きくなっている。また、高齢化に伴い、自家用車の運転ができなくなった時の交通手段の確保も需要が増している。これらの課題を解決するため、市内にあるバス、鉄道、タクシー、デマンドタクシー等複数の公共交通機関の連携や効率的な運用を検討し、真に市民が必要としている公共交通ネットワークの構築と、その評価改善指標の設定等、上位計画や関連計画との整合を図りつつ地域のニーズに合った持続的な計画の策定を目指す。</p> <p>美濃市では平成25年のデマンドタクシー導入以来利用者アンケートを継続して行っているが、地域交通全体に対する調査は5年に1度程度実施に留まっている。そのため、市内の公共交通機関を俯瞰的に検討し、市民の需要把握、複数の公共交通機関の連携による利便向上、既存の公共交通機関の見直しなど、地域のニーズに合った計画を策定するため、各公共交通機関の実態把握調査、市民の需要調査、各種課題の整理・検討を実施する必要がある。</p>
-----------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------